

鹿角市の通説異説

⑩シナノキのこと

⑩-3七時雨山のシナノキ並木

昔は、シナノキ（まだの木）の樹皮を繊維に加工し、荷造り縄に撚ったものと思います。

よって、岩手県七時雨山（ななしぐれやま）にシナノキの並木の場所と、そのことについて忖度（推理）してみたいと思います。

八幡平市七時雨山の中腹の【旧鹿角街道】沿いに、シナノキ巨木の並木が二ヶ所あります。

①推定位置図 八幡平市新町側軽井沢「七時雨一里塚」

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447760830561337348>

推定位置図 八幡平市新町側軽井沢「七時雨一里塚」⇒〔登山数百メートル〕七時雨山中腹のシナノキ巨木並木⇒〔車之走峠越え〕

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447761451691622403>

②推定位置図 八幡平市寺田側留ノ沢一里塚

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447762151456722949>

推定位置図 留ノ沢一里塚⇒上方途中舗装林道横断約100メートル シナノキ巨木並木・旧避難小屋跡

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1447762463890415617>

鹿角市の通説異説へ戻る

<https://twitter.com/GCZsakurada/status/1443256164158869506>